

さかきさんぽ

長野大生による坂城の魅力発見



長野大学環境ツーリズム学部 松下ゼミ 2016



北国街道 旧坂木宿
旅籠おそうじ大作戦

一般見学可

2016
12/18(日)
9:00~12:00

坂城町大門町
旧小藤屋邸宅

北国街道旧坂木宿の町並みに、明治初頃に掛けて旅籠を営んでいた小藤屋邸宅が10年以上空き家となって残されています。所有者の方は県外にお住まいで、活用方案は定まっておられません。

これまで、このまちの宝物を守ろうと、地域住民有志により設立された「坂木宿ふれあいガイド」によって、毎年1回の室内清掃がボランティア活動としておこなわれてきました。

このたび、こうした活動に賛同した長野大学環境ツーリズム学部の学生たちが、地域の方々とともに、「旅籠おそうじ大作戦」を執行します。この活動が、北国街道旧坂木宿エリアの新たなまちづくりの契機となることを願っています。

主催：おそうじ大作戦実行委員会（坂木宿ふれあいガイド、長野大学環境ツーリズム学部松下ゼミほか）
問合せ：長野大学環境ツーリズム学部 松下ゼミ matsushita@nagano.ac.jp 0268-39-0001（代）

地域の皆さんと今回一緒におこなった活動のチラシと当日の様子です (P8参照)。



さかきさんぽ

2017年1月 2016年度長野大学環境ツーリズム学部課題探求ゼミ(松下ゼミ)

〒386-1298 上田市下之郷658-1 TEL:0268-39-0001(代)

E-mail: matsushita@nagano.ac.jp <https://www.facebook.com/matsushita.semi/>

この冊子は、「平成28年度北国街道周辺の景観整備に向けた実態調査(坂城町)」の一環として作成したものです。取材にご協力いただいた地域の皆さまには、たいへん感謝申し上げます。

長生 坂城のまちなかを歩く

——『若者・よそ者の感性で、まちを切り撮ろう!』——

長野大学環境ツーリズム学部の松下ゼミの1年生が、坂城のまちなかの魅力発見まち歩きをおこないました。ほとんどが、坂城町をはじめ訪れる学生です。まず、基礎的な学習として、坂城町の学芸員の方の案内で、北国街道旧坂木宿の旅籠が残る町並みの散策です。

その後、3つのグループに分かれ、『若者・よそ者の感性で、まちを切り撮ろう!』

と題して、まちを自由に歩いて自分たちの感性でみつけた「まちの景色」の収集です。収集方法は、インスタントカメラ。自分たちの五感で感じたまちを切り撮りました。



駄菓子屋

駄菓子屋さん。お店のおばちゃんは明るく話しやすい方でした。地元の方とおしゃべりしていて、とても和やかな雰囲気のお店でした。お店で買った、みたらし団子がおいしかったです。(井澤 萌子)



おすそわけ

道路に置いてあったカゴにはたくさんの小さな柿が。メモに柿をもらった方からの感謝の一言も添えられていて、地元の方の優しさや素敵な近所付き合いを垣間見ることができました。(魚住 奈央)



仲良く団子

仲良く団子

駄菓子屋で団子を買った後、近くの公園のような場所で団子を皆で仲良く食べているところです。団子を食べている中、皆で輪になり、仲間の絆が感じられる一枚になりました。皆でおいしそうに食べていました。(興口 和馬)



田舎の駄菓子屋

お店は100年以上前からあるという小田切商店です。お店の中には和菓子和駄菓子がありました。地域の交流の場になっているんじゃないかと思います。みたらし団子は美味しかったです。(小林 翔)



坂城神社



坂城神社

北国街道の少しはずれ、山のほうへ坂道を上っていくと、坂城神社という神社がありました。坂城神社は、たくさんの杉の木に囲まれ、静かな雰囲気でもとても落ち着く場所で、たいへん歴史がある神社です。神社から続く直線の道も、景色がとても良かったです。(長田 侑也)

だがしやさん

坂城のまちなかに小さなだんご屋がありました。おいしそうなだんごとおやぎがあった。おいそうな昔ながらの駄菓子があった。優しいおばあちゃんがいました。また来たい。(吉原 捻海)



だがしやさん



ススキと山と私

坂城町のいいところを探していたら、ススキと山が見えるところを見つけて撮ってもらいました。全体に広く見えて、見ていて気持ちが良くなる場所でした。ススキと山と民家がとてもマッチングしていて、とてもきれいでした。(北原 達矢)



お米の自販機

これはお米の自販機です。自販機はたいいてい飲み物や売ってものですが、ここはお米を売っていました。ちなみに、この写真だとわかりづらいのですが、発泡スチロールでお米の商品紹介をされていて、とてもユニークでした。(村山 広樹)



お米の自販機

坂城町歩き



風景ある小径

風情ある小径

坂城には小径がたくさんあったが、この小径は道幅が狭く、この道を通ると何があるのか入ってみたくなるような、わくわく感を与えてくれるところだった。横には味のある古い家や木があり、風情のある雰囲気を感じられた。(丸山 紀帆子)

ぼくと坂城駅

とても古風な駅でのんびりとすごせる雰囲気だった。都会の忙しい駅よりも、坂城駅のような所があってもいいのでは…。写真は近くにあったベンチにタイマーを付けて撮影。(内山 瑠太)

懐かしのブランコ

心光寺近くの神社にあったブランコ。子供のころ遊んだ公園を思い出しました。ブランコしかなかったけれど、そこには懐かしさと風情がありました。この神社の近くには、心光寺や宿場、鉄の展示館などさまざまな建物があります。(小原 知恵)

寂れた門

人の手を離れて何年たったのかわからないが、人が手入れしないだけで、こんなにも寂れてしまうのかと思った。人が手入れすると、どう変わるのが見てみたいと思った。(加藤 利弥)

ワンちゃん

可愛いワンちゃんを撮りました。人と動物とが仲良く暮らしています。まちはとてもきれいです。どこにもペットを注意する掲示板があります。たくさんの住民がペットを飼っています。(呉 昊)

ぼくと駄菓子屋

昔懐かしの駄菓子屋に行きました。小学生の時、放課後によく地元の駄菓子屋に行ったり、私のばあちゃんが駄菓子屋を営んでいたこともあって、とても馴染み深く懐かしい感じがしました。今の小学生たちはあまり馴染みがないかもしれませんが、ぜひ一度訪れてほしいと思います。(翠川 天也)

海賊王に俺はなる

坂城町を探索していたらあの人気マンガの「ONE PIECE」の主人公のルフィの等身大フィギュアを見つけました、ルフィが大スキなのでこんなレアフィギュアを見つけられて良かったです。記念にパシャリ♡♡ (作田 結芽)

切り撮った「まちの景色」の中から、各自の一押しに「私の一枚」として、コメントを添えました。お店の雰囲気と店主のお人柄のせいか、駄菓子屋さん(団子屋さん)が大人気です。

また、グループごとに、切り撮った写真を一枚の絵に。それらは、イラストなどを駆使して「ぶらり坂城町の旅」、「私達が見た坂城町」、「坂城町歩き」と題して、学生目線からのまちの特徴を描きました。これらの資源の中から、自然景観、歴史・町並み、まちのお店をテーマに、坂城の魅力を探ることとなりました。

路地の ある街



私の地元の北京・北新橋（ベイシンチャオ）では、複雑な路地がある。私は、そこに住んでいる。でも、周辺はビルが多すぎるから狭い。
一方で、北国街道坂本宿の路地周辺は畑があるから、広い感じがしてストレスが少なく、すっきりしていて私には心地いい。

（呉 昊）

坂城のストレス解消スポット



私が紹介したいのは「びんぐし湯さん館」という坂城町の温泉施設です。坂城のまちの中心から南西に車で約10分の、見晴らしの良い山の上にあります。山の上に建てた理由として夜景、見晴らしなどの景観を大切にし、特色のある温泉にしたかったからだそうです。そして、県外からは東京や埼玉の都会からも来るそうです。特に祝日には県外から多くの人を訪れるそうです。また、お風呂のイベントとして冬至にはゆず湯、五月には菖蒲湯、他にもレモン、オレンジ、リンゴなどのイベント湯もやっています。そして、温泉に入る際、学生は学生証をみせることで100円引きになったり、地元

企業割引があります。また、地元との連携として坂城町のバラ祭りに来た人に100円引きパンフレットを配ったり、刀剣を飾ってある鉄の展示館を訪れると100円引きなどがあります。学生にも地元にも観光客にも楽しんでもらえるようになっていきます。

また、びんぐし湯さん館には地域の振興のために坂城町関係の商品も売っています。特に坂城町で育つ、辛みがあるねずみ大根で作った焼酎は、リピーターがいるほど人気です。私もお酒が飲める年齢になったら飲んでみたいと思います。また、地元の人が育てたブドウで造ったワインや地元で育ったリンゴなど

も売っています。

私は何度かびんぐし湯さん館に行ったことがありますが、学生割引があるなど初めて知ることもありました。また、温泉は大きくて自然もよく、北国街道が通る坂城町の中心が一望出来て、とても開放的で、気持ちがよく伸び伸びできる場所です。皆さんも自然に囲まれて伸び伸びと温泉に入ってみませんか？

(北原 達矢)



営業時間：午前 10:00～午後 9:00(休館日：毎月第4水曜日)
〒389-0604 長野県埴科郡坂城町大字網掛 2002 - 4
電話：0268-81-7000



バラのまち ~さかき千曲川 バラ公園~



さかきを彩るバラ園

坂城町は、バラの産地です。1985年にバラを町花として、バラによるまちづくりへの歩みが始まり、近年では町のオリジナル品種である「さかきの輝」も生み出されました。地域内でバラによるまちづくりを盛り上げていこうと、2001年にはボランティア団体「薔薇人(バラード)の会」が設立され、最近では地元の小学校や中学校などの様々な場所でもバラの花を目にすることが出来ます。

そして、坂城町の一大行事として、毎年6月上旬頃に「ばら祭り」が開催されます。会場は、北国街道中之条付近の千曲川のほとりにある「さかき千曲川バラ公園」です。ここでは、約300種類のバラが、私たちを歓迎してくれます。目で見て楽しむのもいいし、香りを感じて楽しむのもいいでしょう。例年、4万人もの観光客でにぎわい、地元の人々はもちろんのこと、県外からも訪れるんだそうです。



実際に行ってみた!!

残念ながらバラはほとんど咲いていなかった！でも、ばら祭りの時期になると、ここにはたくさんの方が来るんだろかなあと思うとなんだか感動。あと、売店があるらしいから、おいしいものを食べながらバラ園を散策なんていうのもいいなあ。

坂城のバラに期待大!!



薔薇人の会
塚田さんに聞いた
さかきの魅力って？

自然が豊か

周りを見渡せば、緑が豊富な山が連なり、千曲川が流れている。温暖な気候でとても過ごしやすい。人にとっても、バラにとっても優しい地域。

アクセスが良い

坂城町は、長野市と上田市の中心に位置する。電車を使えば長野市にも上田市にもすぐに行くことができる。昔よりも電車の本数が増えたからとても便利になった。

豊かな自然の中で
さわやかな朝を

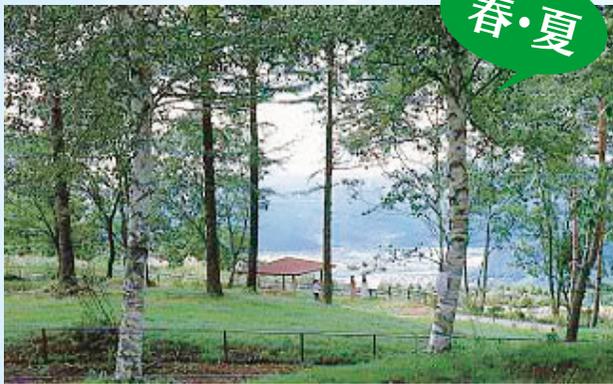
和平高原

北国街道坂木宿から車で20分ほどに位置する「和平高原」。そこは豊かな自然に恵まれ、春や夏になると地元の小学校や県内の観光客が訪れる。山の家やバンガローなどの様々な施設があり、訪れる人のハイキングやキャンプの自然体験の場利用される。

秋・冬



春・夏



和平高原は高原地帯にあり、ここからは美しい北アルプスが眺望できる。春には山菜採りに利用され、ゼンマイ・タラの芽・ワラビといったたくさん山菜がある。夏になると、坂木宿を観光で訪れた人々や県内の小学校がキャンプ・ハイキングを楽しむ。山を家の利用は大人一泊200円、バンガローは3000円と比較的安い価格なので、利用しやすくなっている。また遊具も揃えてあり、子供たちも楽しく利用できる。さらに、和平公園の利用は10月まで可能であるため、山々の紅葉散策にもうってつけである。しかし、高原内の山の中は熊や鹿に遭遇する恐れがあるため、鈴やラジオを携帯しておくとういだろう。

坂木宿を訪れた際にもう一泊して、豊かな自然の中で爽やかな朝を迎えてみるとさらに旅の思い出が深まるかもしれない。

さらなる利用価値として、夏や秋に星観察会イベントを開くことにより楽しめる。和平は標高



1000mのため、夏・秋の夜訪れてもそれほど寒くない。そして山の中で町の光が届きにくいので、星を観察する場所

としては最適だろう。しかし、それにはより一層の道路・景観整備が必要である。坂城町の歴史的町並みとつなげて和平高原への行き方マップを掲載した上で、様々なイベントを企画すると、さらに魅力ある場所となる。

(小原 知恵)



桜の馬場の冷泉

それは山奥に潜んでいった。誰も立ち入らなそうなところであったが、きれいな湧き水が静寂の中流れていた。その水は飲めるらしく試しに飲んでみた。自然の冷気で冷え



た湧き水は体の隅々までいきわたり、清々しい気持ちにさせてくれた。意図的につくられたようであったが、どこか神秘的で荘厳な雰囲気がある場には確かに存在していた。混沌とした社会を生きる私にとっては、そんな状況を忘却の彼方へと送る空間であった。

桜の馬場の冷泉は、北国街道より少しはずれた坂城IC付近の南条入横尾にひっそりとある。

甘泉



坂木宿の南の入口・四ツ屋にある泉の跡を、ぜひ一度見に行ってみてはどうだろうか。

(内山 瑠太)



住宅街のなかに力強く「甘泉」と書かれた石碑があった。それがあったのは、染物屋さんの前だった。取材のときこの染物屋さんの店主に話しを伺えた。宿場町として栄えていたこともあり、時には役人もいらした。その時、ここに湧く水を飲んで「何と甘い水なんだ！」と驚かれた。そこから甘い泉と書いて「甘泉(かんせん)」となったらしい。宿場町坂木の名を裏づかせるような話であった。北国街道

坂城町 古民家大掃除!

古民家プロジェクト、始動!

私たちは坂城町のボランティアガイド「坂木宿ふれあいガイド」の皆さんと共に古民家の大掃除を決行した。今回我々は坂城町の旧北国街道坂木宿エリアを中心に活動している中で、ぜひ古民家再生に携わりたいという思いから、坂木宿ふれあいガイドの皆さんのご尽力のもと、大門町にある旧山浦邸の大掃除を行えることになった。

以前は旅籠として使用されたこの古民家は、二十年ほど前から空き家ということもあり、だいぶ物が溢れていた。しかし我々からすれば、今まで体験したことの無い新しい世界といっても過言ではない。実際作業してみても、昔の物品や資料が多々見つかり、まさに宝箱のようであった。地元のボランティアガイドの皆さんは七年前から年に一度、掃除や雨漏りの修繕を行ってきたとのこと。そのためか、二十年間空き家だとは思えぬほど、建物がしっかりとしており、この調子で修繕が進めば、近いうちに、この古民家を使い何らかの催し物ができるのではと、想像を掻き立

てられた。

この古民家で催し物が行われれば、我々が行っている活動にも大きく関係してくることだろう。さらに今回のような地域の文化財を使った活動が、我々と地域の人々とのつながりを強めてくれたように思う。このような関係性が、将来的に坂木宿エリアの活性化にもつながるのではないだろうか。さらに、この古民家を利用できるようになれば、積極的に有効活用していこうと、いろいろ考えさせられた今回の活動であった。

(興口 和馬)



▲今回一緒に作業して下さった坂木宿ふれあいガイドの皆さん

今も愛される
坂城の名将

村上 義清

村上義清とは？

隣国甲斐の武将・武田信玄を二度に渡って撃退した武将がいます。

それがこの北・東信濃一帯を平安末以降治め続けた村上氏から現れた武将・村上義清です。

信玄公を撃退した「上田原の戦い」、そして、「砥石合戦」、さらには「川中島の戦い」に参陣しています。

村上氏のことや、村上義清のことをもっと知りたいと思ったら、坂木宿のほぼ中の北国街道沿いにある「坂木宿ふるさと歴史館」には、数少ない史料が展示してありますので、是非訪れてください！

村上義清の評価

この度、坂城町の敏腕主任学芸員の時信武史さんにお話を伺うことができました。

そこから、坂城町の住人が現代まで村上義清に強い思いを持っていることが伝わりました。

私が単純に驚いたのは、坂城町の村上小学校では、校歌の二番が村上氏の事を謳ったもので、坂城町が村上氏の事をきちんと誇りに思っていると感じます。

坂城町では、「坂木宿ふるさと歴史館」において、村上氏の歩みや、村上義清の生涯を紹介していることも、「まちのシンボル」として意識しているんだな」と感じます。

お話を聞き、村上義清は戦国時代の將軍の中でも、なかなか優れたものを持っていたと思います。知名度は低いですが、信玄公を退かせたその手腕、戦に対するその機転は豊臣秀吉に負けないものと思えます。

坂城町では、これからも村上義清を大切にしていき、他の武將に負けない偉業を持っているんだと伝えてもらいたいです。

(小林 翔)



▶時信武史さん



▲右の武將が村上義清

旧北国街道 坂木宿

坂木宿の概要

坂木宿は、江戸と北陸を結ぶ北国街道の宿場の一つで、北国街道の中でも大きく栄えた宿場町でした。坂木藩や幕府の代官陣屋が設けられるなど行政の中心地でもありました。北国街道が開削されると、本陣（宮原家）、脇本陣（中沢家）、問屋、旅籠などが設置され、経済的にも大きく発展しました。また、坂木宿は様々な文化が流入したところでもあり、特に和算が盛んでした。

坂木宿の新町・大門町・立町・横町・田町の町並みには、古い旅籠の建物が立ち並び、当時の宿場町の名残を見ることができま



場に整備しました。

本陣宮原家表門

江戸時代に建てられた旧本陣表門は、寛政十一年と明治四十五年の二回の大火を逃れ、本陣時代の唯一の建物で遺構として残されています。2004年に町の有形文化財に指定されました。外壁は色漆喰塗りと格式高く仕上げられています。



(丸山 紀帆子)

インタビュー！ 城下町の学芸員の時信さん

Q 坂木宿では、江戸時代にどのような産業が盛んでしたか？

A 主に、農業と養蚕が盛んであり、農業では特にお米をたくさんつくっていました。



Q 坂木宿は和算以外にどのような文化があったのでしょうか？

A 俳句も流行でした。特に小林一茶の俳句です。

Q 坂木宿のココに注目してほしい所を教えてください。

A 通り土間であったり、町の通りのぎりぎりに家が建っている旅籠の建物の構造を見てほしいです。

荇屋原の七不思議



国道18号線に沿って千曲市方面に進んだ「乾の方（坂木宿の北西の方角）」に荇屋原という地域があり、七不思議が伝わっています。

1. 灯しの松（あかしのまつ）
2. 裾無し川
3. 雲井の橋
4. 舟繫石（ふなつなぎいし）
5. 弘法の八の字（投げ筆）
6. 笄の渡し（こうがいのわたし）
7. 比丘尼石（びくにいし）

ここではそのうちの2つを紹介します。

比丘尼石

村上義清公が葛尾城を自落して越後へ逃れたとき、姫城を脱出した奥方が、郷里の住民のみなさんが永遠に幸せであるようにと祈りつづけ、化石になったと伝えられる石。尼さんの恰好で祈っているように見えます。

実際に行つて写真を撮つてきましたが、急こう配＋落ち葉で足元がとてもしずべりやすくして私は3回転びました（笑）。

見に行かれる際は滑りにくい靴で行くこと、体力に自信のない方は国道18号線から双眼鏡で見るとをおすすめします！

笄の渡し



千曲川辺にきた義清公の奥方とその侍女が川を渡つて荒砥城へ逃れようとした際、快く引き受けてくれた船頭へのお礼として金の「笄」を渡したとされる。

話を伝える看板が国道18号沿いの荇屋原ミニパークにあります。また、少し見つけにくいですが、より詳しいものが笄橋を渡つてすぐ右側にありました。

（魚住 奈史）

参考文献・坂城町誌上巻 民俗編



▲今回取材に協力してくださった坂木宿ふれあいガイドの田原茂樹さん

一見何だろうと思う 石碑には意外と歴史が 坂城町の石碑

北国街道坂木宿の北の入口となる苅屋原には、石碑や句碑が建てられている。

馬頭観音

馬頭観音は、坂城町の中に141ある最も多い石碑である。かつて人々が険しい街道で死んでしまった馬を祀るためや、馬の無病息災や長寿を願うための石碑である。



苅屋原にある馬頭観音の隅々を見てみると、右側には蓮華を持った観音様が彫られている(一度見に行った時は見逃してしまった)。現在は雨によって痛みがひどく最後の一文字しか読めなくなっていて、修復も傷みすぎていてできない状況なのが残念だ。

芭蕉十六夜塚

芭蕉の句が彫ってあるくらいだから大きいのだろうなと思っていたら、思いのほか小さく見逃してしまいそうになって



しまうものだった。芭蕉の更科紀行で読まれた『いざよいもまだ更級の郡かな』と彫られている。俳句・松尾芭蕉が好きな人は、一度訪れてはいかがだろうか。

小林一茶の句碑

小林一茶は何度も北国街道を通っていたそうです。

そんな中詠まれた句が『横吹や猪首に着なす蒲頭巾』と彫られている。意外と大きく目につきやすい印象を持った。



3つとも千曲川沿いにある苅屋原ミニパークにあり、景色もいいため是非一度訪れてみてはいかがでしょうか。

(加藤 利弥)

坂城町のQ&A 石碑・石仏



取材に応じてくれた 塚田ゆかりさん

Q 坂城町の石碑・石仏の特徴は？

A 趣向を凝らしたものが多く、大きい石で作られているものもあるので、お金を多く出せるほど地域が裕福だったのではないかと。

Q 若者目線で石碑・石仏巡り、街道歩きを楽しむコツは？

A 歴史好きには楽しいかもしれないが、歴史好きではない場合は、街道沿いの郵便局で特別な消印を集めたり、地域ごとのマンホールを比較したりするのもおもしろい。実際に歩かないと気が付かないこともあるので、是非まちの中を歩いて気づいてほしいです。

紅谷和洋菓子舗

井澤も行く!

坂城の美味しいものめぐり

作田が行く!

手間暇かけたやさしい味

坂城駅から徒歩5分、北国街道・立町より日名沢川沿いに少し下ったところにある紅谷和洋菓子舗さんを紹介します。このお店は1968年10月に開店された歴史のあるお店です。



「湯の花ブッセ」や「ねずこんクッキー」を置いているので、坂城町をよく知ることができます。また、季節に応じた和洋菓子を作っているのでも、季節折々の和洋菓子も楽しめます。

このお店の見どころは、保存料を一切使用せず、ほとんどの和洋菓子を手作りで作っているというところと、和菓子と洋菓子のどちらも楽しめるというところです。



紅谷さんは一つ一つの和洋菓子に手間暇掛けて、最高の菓子を作っています。例えば、巨峰のワインケーキは2週間

ワインを染み込ませていきます。出来上がりまで3日間かかる菓子もあります。とても手が込んでいるからこそ、味もよく、お客さんが集まってくるのだと思いました。

和洋菓子の美味しさと奥さんと娘さんの人柄によって何度もお店に足を運び、美味しいと言ってくれるお客さんが沢山います。和洋菓子は全て甘すぎず食べやすいので、幅広い世代の方に楽しんでもらえて、紅谷さんならではのオリジナルの味わいを楽しむことが出来ます! 「また食べたーい!」と癖になるとっても美味しい和洋菓子を是非食べに足を運んでみてください。



〒389-0601

長野県埴科郡坂城町大字坂城6353-2

営業時間 8:00~19:30(火曜定休日)

TEL・FAX 0268-82-3211



(作田 結芽)

坂城の美味しいものめぐり

カフェおきらく



駅前でひと息 カフェおきらく

こちらで紹介したいのは「カフェおきらく」さんです。名前のとおり気楽に来店できて、リーズナブルでおいしい料理を食べることができます。

こちらのカフェは児玉多栄子さんが2011年から開店されていて、坂城町の中では新しい方の飲食店です。「カフェおきらく」という名前は、お客さんに気楽に来てくださるようというこで、児玉さんのおばあさんが付けられたそうです。お客さんは主におじいさんやおばあさんに人気で、近所の方々がよく来られるそうです。



品物の提供時間を早くすることを意識されており、メニューを頼んでからの待ち時間に困ることがないのがとても魅力的でした。静かな雰囲気です。思わず足をほこびたくなり、ひと息つきたい人にはぴったりです。

また、カフェでは週替わりのランチメニューやナポリタンなどガッツリ食べられるメニューもあり、値段もお手軽なので若い方にもおすすめです。



店内は季節ごとに装飾が変わり、とてもかわいらしいカフェです。店内のショーケースの中には誕生日ケーキも置かれていて魅了されました。「坂木宿ふるさと歴史館」に近い、駅から歩いて2

〜3分の北国街道沿いにあるため、ぜひ立ち寄ってみてください。

(村山 広樹)

〒389-0601
長野県埴科郡坂城町
大字坂城6324-4

営業時間 10:00~19:00
(日曜・祝日定休日)

TEL 0268-82-2205

坂城の美味しいものめぐり

小田切商店

こちらの商店は坂城駅から徒歩5分の所にある、昔ながらの雰囲気がただよる「小田切商店」。約100年以上前の大正時代から続き、現在は三代目のご主人と奥さんの2人で営んでいて、坂城町の北国街道沿いの田町が横町と交わるあたりにある老舗の商店です。



北国街道沿いの老舗商店



て、学校等の景品のお菓子等も提供しているそうです。

小田切商店の一番のおすすめ商品は、手作りのお団子です。お団子の味はみたらしと餡子あんこがあり、どちらも80円と、とてもお手軽なお値段で頂くことが出来ます。お団子の他にもおやきや和菓子なども揃っています。小田切商店は和菓子だけでなく、駄菓子を多く販売しています。価格は10円から売っていて、昔ながらの駄菓子を食べるだけでなく、見ているだけでも楽しく、懐かしい雰囲気を楽しみむことが出来ます。駄菓子は100年以上前から販売してい

こちらの商店では、今では珍しくタバコも売っています。今はコンビニエンスストアや自動販売機の発展により、タバコやお菓子を買いに来ってくれる人が少なくなっている時代です。こちらの商店には子供からお年寄りまで幅広い年齢層がお店に訪れ、買いに来てくれたお客さんと色々な話ができて楽しいそうです。お店の大変な所は、ガムなどの商品は1つ1つ買うものなので消費税を取ることができないという事で、これは税金の制度の1つの問題点だと感じました。

ぜひみなさんも一度、昔ながらの雰囲気を感じられる小田切商店を訪れてみて下さい！



〒389-0601
 長野県埴科郡坂城町大字坂城6576
 営業時間 7:00~19:00(定休日なし)
 TEL 0268-82-2598



(長田 侑也)



まちだ食堂

坂城の美味しいものめぐり

シェフ ミノルが営むまちだ食堂

まちだ食堂は、テクノさかき駅から徒歩12分ほど行ったところの北国街道中之条沿いにあります。1965年2月27日から営業を始めて今日まで続いている、地元の方々にとどまらず県外から来るお客さんにも愛されているお店です。店主の町田稔さんはお父さんの代から始まったこのお店を、現在お母さんと二人で切り盛りしています。「お客様が家族」というとても気さくな方で、食事をしているとても楽しいです。

店内には、カウンター席、お座敷、50人まで入れる宴会場があるなど、おひとりでも大勢でも楽しめるようになっていきます。このお店の一番の特徴は、なんとといっても一つ一つの料理の量です。ナポリタンと唐揚げ、かつ重とラーメンといったように、他のお店だったらひとつで主役を張るような料理がなんと、セットで750円!! 食べ盛りの学生には何とも魅力的でした!! ご飯には飯山のコシヒカリを使用するなど、細部にまでこだわりがあります。

安くて美味しいご飯をたくさん食べたいと思っている方、今日のご飯は何を食べようか悩んでいる方、ぜひ一度訪れてみてください。そして、「まちだ食堂」の虜になってください!!



〒389-0602
 長野県埴科郡坂城町大字中之条776
 営業時間 ランチ営業、日曜営業(火曜定休日)
 TEL 0268-82-2347



◀ 店主の町田稔さんとお母さん

(翠川 天也)

坂城の美味しいものめぐり さかき地場直売所「あいさい」

さかき地場直売所「あいさい」は、坂城町の特産品や加工品などの地域資源を大切に、地場産品の認知度向上や産業の活性化を図る目的で2011年10月に誕生しました。

あいさいには、坂城町で収穫された野菜や果物がたくさん並べられています。坂城町は、扇状地なのでりんごやぶどう、桃などの果物系が育てやすく、おいしくできるのでオススメです。



ジャムなども売っていておいしそうだった。
野菜、卵が安かった！



彩り豊かな新鮮野菜をお届けします♡



初めて食べて、辛くてびっくり!!
でも味噌を入れると甘みが少しあった!

あいさいには食堂もあり、そこで坂城町の特産品であるねずみ大根を使った「おしぼりうどん」を食べることが出来ます。おしぼりうどんは、ねずみ大根を使ったものをしぼった汁につけていただくうどんです。しぼり汁だけでは辛いので、味噌を入れて食べると、あまもつくらを味わうことができます。あまもつくらとは「辛さの後からほのかに感じる甘さ」のことだそうです。おしぼりうどんは、手打ちですぐになくなってしまいますので、早めに来ることをオススメします。

食べてみないとその不思議な味が分からないので、1回食べに来てください。そしてぜひファンになってください!

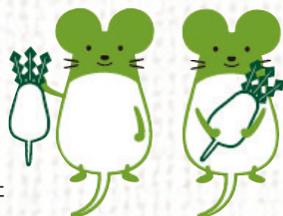
ねずみ大根とは?

ねずみ大根は坂城町の特産品です。その形がねずみに似ていることから、こう呼ばれるようになりました。味は個性的で辛みが強い大根です。もとは漬物用に使われていましたが、おしぼりうどんに脚光が浴び、ほとんどのねずみ大根がおしぼりうどんに使われるようになりました。ほかのところで育てようと種をまいても、味が変わってしまうので、ねずみ大根はここでしか食べることができません。



ねずみ大根について語ってくれた

組合長 三井 進さん



〒389-0602

長野県埴科郡坂城町大字中之条56-7

営業 直売所 8:30~17:00(冬季 ~16:00)

時間 食堂 11:00~14:00(年末年始休業)

TEL 0268-75-8267

(井澤 萌子)

「こんな街になったらいいな」ワークショップ

—北国街道坂木宿エリアのにぎわい創出について、若者目線で提案する—

約3カ月間の取材・調査活動を経て、長野大学環境ツーリズム学部・松下ゼミの学生チームごとに、北国街道坂木宿エリアのにぎわい創出に向けたアイデアを若者目線で提案しようと、「こんな街になったらいいな」ワークショップを開催しました。それぞれのチームのテーマを中心に、以下のようなアイデアが提案されました。

自然・景観チーム



自然環境

森の景観の調整、冬のバラ園のイルミネーション、道路わきに花を、土地資源の活用、和平高原の秋冬利用、明るい音に溢れているまち、釣り場

道路・案内

歩きやすい道、山間部の道路整備、道しるべと案内板、名所との送迎バス整備

まちづくりイベント

子どもにやさしいまちづくり、利益を追求しすぎないまちづくり、公共施設の充実、工業イベント、四季を通したイベント、スタンプラリー

商品開発 お店

名産品開発、ねずみ大根の新たな使い道、若者が入りやすいお店、駅の近くのお店、びんぐしの湯と下の公園との連携

歴史・町並みチーム

古民家利用

古民家カフェ・猫カフェ、泊まれる古民家、ぶどうを使ったソフトクリーム、猫との写真集

ツアーの企画

坂城まち歩きツアー、坂城・山めぐりツアー、坂城・城めぐりツアー、疲れを癒す荘厳な自然を利用したツアー、刀と着物の撮影会

現代っ子目線

古民家風のコンビニ、ゲーセン、ねずこんゆるキャラPR、ギネス1位を

その他

義清の書籍化、新種のバラ開発、くつろげる公園



食べ物・お店チーム

広報

お店のマップづくり、ホームページ、大きい看板

新たな取り組み

古民家を改修したお店、地域のお店でたまるポイントカード、イベント

メニュー開発 (ネズミ大根)

テーマを決めて各お店で開発、季節限定メニュー

まちの環境

人がたくさん来てくれたらいいな、駅前のにぎやかに、お店の場所をわかりやすく

ねずこん推す

